

編集後記

▼暖かさを感じる季節となりました。

皆様には愈々ご健勝のことと存じます。成寿十八号をお送り申し上げます。

▼善光寺海外留学僧派遣育英会には日頃、各方面の皆様から絶大なるご支援を賜り、関係者一同感謝に堪えませんでしたので、育英生の応募論文をまとめて『善光寺海外留学僧派遣育英会論文集 Vol.1』（頒価・税込千五百円）を十二月初旬に上梓しました。

▼十一月にはかつて留学僧として海外経験のある四氏より寄せられた近況報告、レポート等をまとめて『成寿特別号』を発刊。禅の国際化へ活眼を開き、明日の宗教人を育てる地

道な努力が少しづつ花開いてゆくのを感じている昨今です。

▼今回のカラーグラビア「シユエダゴン・パゴダ」の写真は樋口英夫先生文は特別に杉江幸彦先生にお願いいたしました。また、高野義郎先生には特別寄稿をいただき、写真とともに別格の読物となりました。各先生には誌上よりお礼申し上げます。

▼仏師・錦戸新観師との鼎談は大変心に残るものでした。「『精進を築とし、精進を永遠の命とす』を座右銘として彫り続けてゆきたい」とおっしゃる錦戸師の静かな話し声の中に、一木に込められる仏師の魂を見た思いです。私たちは尊像から、心に響く何かを感じ取ることが大切です。

▼第八回海外派遣留学僧が決定（161

頁参照）しました。次号で応募論文を掲載する予定です。

▼四月にカンボジアのアンコール・ワットに参ります。カンボジアは十二年来の内戦がやっと終結に向かい各国から復興の援助の手が差し伸べられようとしています。クメール文化の頂点といわれるアンコールワットを訪れ、その栄華と崩落の危機にある現状を誌上でお伝えいたします。

▼春彼岸も間もなくです。ご先祖様を尊び、日々精進を重ねて、一日一日を大切に生きて参りましょう。

成寿 第十八号

平成四年二月十日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五（八四五）一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局





横濱善光寺